

先週の6日(月)に、第1学期始業式を無事終わりました。

コロナウイルス感染防止対策のため、体育館ではなく、各教室に待機し、校内放送で実施しました。以下は、私の始業式式辞です。

皆さん、おはようございます。久しぶりに会えて、本当にうれしいです。また、今程のてらわきさん、きくのさんの意見発表は、はっきりとした声で、やる気が伝わる内容を語っていて、とてもよかったです。なお、コロナウイルス感染防止対策のため、こうした不自由な形で始業式を行ってしまうこと、生徒の皆さんには大変申し訳なく思っています。

さて、2年生、3年生のみなさん、進級おめでとうございます。新3年生は最上級生として学校行事をリードし、下級生を指導しながら、井波中の伝統を築いて行くとともに、自らの進路を決めていく、人生の節目の一つとも言える一年となります。受験は団体戦と言います。学年の仲間の仲を深め、来年の3月には第一希望進路に進めるよう、日々の授業と家庭学習に真剣に取り組んでください。

新2年生は、入学してくる1年生に、先輩として中学校生活の心構えや過ごし方など、教えてあげるとともに、体育大会が終わったところあたりからは3年生に代わり、本当の中心となり、学校を引っ張っていく立場となります。

ここで1学期、皆さんに特に伸ばして欲しい2つの力についてお話します。今から言う力は、社会に出ても必要となる力だと、私は思っています。

1つ目は、自信をもって、時と場に応じた自己表現ができる力です。例えば、授業中や多くの人が集まっている場面で、挙手や発言を求められたなら、積極的に、自分の考えや気持ちを周りの人に伝えて欲しいのです。言葉や行動で返すことは、相手に対するリスペクト、尊敬につながるものです。引っ込み過ぎたり、しゃべらなかつたりする自分では、相手に対して失礼に見えてしまうことにもなりかねません。失敗を恐れず、逆に失敗して学ぼうとするくらいの気持ちをもちましょう。

2つ目は、徳を積んで欲しいということです。徳は「道德」の徳であり、道德の本質は「他人を理解する」こと、そして徳を積むことは、人間性を豊かにしてくれるのです。そこで心がけることを、校長室前に掲示しました。全部で18あります。「1 誰に対しても平等に接する」「2 時間を無駄にしない」「3 自分の感情を上手くコントロールする」「4 常に前向きでいる」「5 人の悪口を一切言わない」「6 努力することを楽しむ」「7 人を見る目を養う」「8 自我を通さない」「9 綺麗な言葉遣いをする」「10 いつも笑顔でいる」「11 人に親切にしても見返りを求めない」「12 物事を客観的に見て考える」「13 相手の幸せを心から願う」「14 正しくないことにはきっぱりとNO

を突きつける」「15 後悔や嫉妬という感情をもたない」「16 お金に振り回されない」
「17 人の話をよく聞き、たくさんのことを学ぶ」「18 目標を高く持つ」です。
大人でさえも難しいのですが、是非心がけてみて欲しいと思います。

結びに、前年度は、コロナウイルスの感染により、過去にはない一年間の終了となりました。こうした中で行った、3月12日の卒業式で、卒業生代表の大島早瑛さんが読んだ答辞の文 「井波中学校は最高の学校です。井波中生であることに誇りをもち、さらなる高みを目指して行ってください」と、彼女が流した涙を、私は一生忘れません。先輩方は苦しい時にも、たくましく生活し、ほぼ全員が希望する高校へ進学するなど、井波中学校の底力は凄いのです。命と健康を最優先に、生徒のみなさんと教職員が仲良くしながら学校生活を送り、それぞれが夢や希望の実現に近づける年となるよう期待し、式辞とします。